

犠牲者表象の差異とコンフリクト —沖縄における「慰安婦」のための慰霊碑建立に焦点を当てて—

社会環境学 博士後期課程

玉城福子

1. 調査概要

背景

戦争の表象は、現代社会の権力関係を反映しており、それをめぐって様々な論争を生じさせ、対立を浮き彫りにする。本調査では、沖縄県における「慰安婦」ⁱのための慰霊碑建立を事例に、「犠牲者」表象とコンフリクトに焦点を当てる。慰霊碑建立を事例として選んだのは、慰霊碑建立の際には犠牲者の構築が意識的に行われ、コンフリクトも先鋭化しやすいためである。建立の過程で、どのような「犠牲者」が構築され、いかなるコンフリクトが生じたのかを検討することで、モニュメント建立と地域社会の相互作用を明らかにすることを目的とした。

調査対象

- ・ 沖縄県内にある「慰安婦」を念頭においた慰霊碑
 - ・ 渡嘉敷村にある「アリラン慰霊のモニュメント」(1997年建立)
 - ・ 読谷村にある「アジア太平洋戦争・沖縄戦被徴発朝鮮半島出身者恨之碑(以下、恨之碑)」(2007年建立)ⁱⁱ

調査時期

- ・ 第一期 2011年11月18日～2011年11月26日
- ・ 第二期 2011年12月6日～2011年12月16日
- ・ 第三期 2011年12月24日～2012年1月21日

調査方法

- ・ 関係者インタビュー(半構造化インタビュー)、慰霊碑周辺でのフィールドワーク、新聞記事・パンフレット・イベントチラシ等の紙媒体資料

2. 調査結果

碑の概要:

アリラン慰霊のモニュメント

「アリラン慰霊のモニュメント」は、1997年に「アリラン慰霊のモニュメントをつくる会」に建立された。対象は、「第2次世界大戦時に朝鮮半島などから連れてこられた軍夫と慰安婦の方々」である。

朴壽南監督の映画『アリランのうた』ⁱⁱⁱ(1991年)と元「慰安婦」のペボンギ^{iv}が故郷に帰ることなく沖縄で亡くなったことに心を痛めた個人がモニュメント建立を1992年に呼び

かけを始める。1995 年から渡嘉敷島にて築窯、陶ピースを作成し、1997 年にモニュメントが完成した。

恨之碑

「アジア太平洋戦争・沖縄戦被徴発朝鮮半島出身者恨之碑」は、2007 年に「太平洋戦争・沖縄戦被徴発者恨之碑建立をすすめる会」によって建立された。碑の対象は、「北朝鮮を含む朝鮮半島全域の軍夫のみならず日本軍の性奴隷にされた女性たち」である。

1997 年、沖縄で開かれた「平和と民主主義をめざす全国交歓会」に軍夫として沖縄に連れてこられてきた二人の韓国人が参加し、その場で遺骨調査の必要性を訴えた。遺骨はみつからず、追悼と祈念のモニュメントを建てることになった。

犠牲者像

沖縄の中で朝鮮人の沖縄戦被害は、あまり着目されてこなかった。その中で、「アリラン慰霊のモニュメント」と「恨之碑」は、朝鮮人軍夫と「慰安婦」を戦争の犠牲者として位置づけ直そうとする試みであった。そのため、イメージの湧きやすいブロンド像や詳しい説明版の設置などの工夫が見られた。「慰安婦」に着目すると、朝鮮人「慰安婦」を犠牲者として位置づける一方、沖縄にいたとされる大和人、沖縄人、台湾人「慰安婦」のことは碑文やその後の活動の中でほとんど明示されてこなかったことが分かる。

コンフリクト

碑を建てるまでに様々なレベルでコンフリクトが生じていた。とりわけ、碑を建てる側の背景や知識と地元側のそれとの違いにより多くの誤解が生まれた。例えば、「恨（ハン）」という概念は「アリラン慰霊のモニュメント」、「恨之碑」を建てる時に「恨み」の碑を建てることと勘違いされ、忌避される要因となった。さらに、渡嘉敷島では観光が重要な産業となっているが、この碑が観光のイメージに負の影響を与えるのではないかという疑問も出ていたという。

i 沖縄では守備軍の配備に伴い、「慰安所」がのべ数 130 ヶ所以上設置され、朝鮮人のみならず、那覇の辻遊郭出身の沖縄人、本土の遊郭から連れてこられた女性が「慰安婦」にされたことが分かっている（古賀 2009）。

ii 慰霊碑は、韓国と沖縄に建立されることが予定されており、沖縄に建立されたのは 2 号基である。1 号基は、1999 年に韓国の慶尚北道・英陽郡に建立されたが、1 号基は、韓国の朝鮮人軍夫を対象にしていたが、2 号基は、朝鮮半島全域に地域を広げ、軍夫のみならず「慰安婦」も対象としている。

iii 『アリランのうた 沖縄からの証言』は 1991 年 7 月に完成した映画である。映画の撮影には 4 年の歳月が費やされている。慶良間諸島での沖縄戦に迫ったこの本では、元戦闘隊長、元兵士、住民などの証言が収められており、「慰安婦」や「軍夫」、そして「集団自決」が主要なテーマとなっている。

iv ペポンギは朝鮮半島から就労詐欺によって沖縄・渡嘉敷島に連れてこられ、「慰安婦」にさせられた。その後、故郷に帰ることなく沖縄に留まっており、1991 年に那覇で亡くなった。